

さあ
総選挙

大平・比例議席の奪還、党躍進で

いのちと暮らし優先の政治へ

行き詰まった自公政権から 市民と野党の共闘で政権交代を

コロナ対策の無策、金権腐敗、強権政治など安倍・菅・自公政治が行き詰まるなか、菅首相が退陣を表明。日本共産党の大平よしのぶ前衆院議員は、「比例議席の奪還、党躍進で、いのちと暮らし優先の政治へ転換を」と全力をあげています。

勝田・奥出雲町長と懇談



▲奥出雲町で街頭宣伝する大平氏（中央）ら

大平よしのぶ

前衆議院議員（比例中国・名簿登載予定者）

日本共産党

奥出雲町を訪問

総選挙が迫る8月下旬、日本共産党の大平よしのぶ前衆院議員は、選挙本番で行くことが出来ない中山間地を訪問。31日には、島根県の奥出雲町で街頭宣伝し、勝田康則町長と懇談。勝田町長からコロナや災害対策などでの国政要望が寄せられました。



中国5県でオンライン演説会

中国5県の党県委員会がそれぞれ主催する「オンライン演説会」（8/22 鳥取、29 広島、9/4 岡山 = 写真、5 山口、12 島根）が開かれ、大平氏は「この4年間に中国地方107自治体を巡り、暮らし、災害復旧、被爆者支援などの願いを国政に届けてきた」「議席奪還で政権交代・野党連合政権を」と訴えました。



おひら・よしのぶ

【略歴】1978年広島市出身。広島市立舟入高等学校卒、広島大学学校教育学部卒。日本民主青年同盟広島県委員長など歴任。2014年12月の総選挙で初当選。衆議院議員1期（文部科学委員、災害対策特別委員、憲法審査会委員）、議席奪還を期す。現在、党中央委員。広島県府中町在住。家族は妻と一子。

コロナ対策

第5波広がるなか広島県に第9次の要請 入院病床・療養施設の確保を

コロナ感染第5波が広がるなか大平前議員は2日、党広島県委員会のコロナ対策本部として、広島県に対しての第9次の要請をおこないました。大平氏らは、医療のひっ迫を受けて①入院病床と療養施設の十分な確保②大規模無料PCR検査



の引き続き努力③安全で迅速なワクチン接種の完了④自粛と一体に十分な補償⑤学校での感染・クラスター防止対策の5点を求めました。（写真）



公式SNS
スマホで
チェック♪

災害義援金を 北広島町に届ける

2日、豪雨災害で甚大な被害を受けた北広島町に党中央委員会からの義援金を届けました。

箕野博司町長に目録を手渡し国への要望などをお聞きした。激甚災害指定や早期の護岸改修、砂防堰堤整備などの要望が寄せられた。

東京会場



▲広島会場

黒い雨 被爆者の救済を

3日、井上哲士参院議員、笠井亮衆院議員とオンラインで結び、厚労省に対し、すべて

の「黒い雨」被爆者の救済を求めました。支援する会や被団協、党広島市議団も参加しました。

制度
解説

衆院 比例代表は「日本共産党」と

候補者名は無効です
政党名を
書きます

大平喜信 前衆院議員
いきいきニュース

2021年9月19日 No.33

発行 〒703-8288 岡山市中区赤坂本町1-31 日本共産党国会議員団中国ブロック事務所
日本共産党の大平よしのぶ前衆議院議員の活動と同党の見解を紹介します。